



341億円に達した 県のコロナ対策費!

六月八日から二四日にかけて開かれた六月議会では、二〇二〇年度予算に対する第4次と5次の二つの補正予算案が提案されました。

新型コロナウイルス感染症対策のため追加された額は、合計で341億円となり、更なる追加も予定されています。

また、「特別定額給付金」は県内に総額1,000億円余が給付されたほか、国が外部委託して実施した「持続化給付金」も県内事業所に給付されています。

感染拡大防止、医療体制充実と同時に、地域経済を再始動させる様々な対策が県内の企業、家庭、学校、施設などで展開されています。

新型コロナウイルス感染症対策に県は、三月、四月、五月と補正予算を編成し、六月議会では、二件の補正予算案を提出してきました。

政策立案を担当する県職員は毎日毎晩、懸命に作業している様子がありました。

また、感染症対策の最前線である保健所職員は、相談電話への対応や、感染した方への対応、その濃厚接触者の調査把握と対応、医療機関との調整など息つく時間も無い作業に追われまじた。加えて、衛生環境研究所では膨大なPCR検査作業に向き

子どもにも優しい社会を

岩切たつや

県議会 便り

2020年7月 発行
 県議 岩切たつや
 住所 880-0942
 宮崎市生目台東
 1丁目6-8
 電話0985-89-5158
 fax 0985-86-8778



ンセルなどでほとんど収入のない状況になった宿泊業の社長は「このまま営業を辞めても負債が残るだけ。再開するにも不安が先立つ」と訴えておられました。自粛生活、ステイホームが求められ繁華街から客が消えて、飲食業は厳しい状況となりました。

合っていました。陽性が判明した17名の感染者は、三つの県立病院でそれぞれ治療が行われまじた。通常の患者受け入れを制限し、病棟をコロナ感染症患者専用に変更して、看護師などのスタッフを集中させた対応を行いました。

それぞれ役割をまっとうされ、感染を最小限に押さえ込むことを成功させた全ての皆さんに、感謝をしたいと思います。

地域経済の立て直しを

一方、タクシー乗務員の方から、「売り上げは以前の半分もない。歩合制給料だから給料が少なく生活が厳しい」との話を伺いました。また長期間、営業自粛や予約キャンセル

これらの状況に①感染拡大防止策と医療体制の整備、②雇用維持と事業継続支援、③地域経済の再始動と活性化、④持続可能な経済・社会づくりという四本柱で補正予算が編成され、農林水産業、交通・観光業、飲食サービス業など各産業に対する施策と、医療・介護・福祉の現場、教育現場に対する施策が用意されました。

国、市町村による様々な政策も展開されることで早期の感染症収束と、安心して暮らせる宮崎づくりをすすめ、地域経済の復興、そしてつらい思いをされている皆さんに直接支援が届くように、私も取り組んでいきます。

コロナ禍でも利権獲得? 残念な国の政治状況

皆さんも、持続化給付金の給付事務を経済産業省から受託した一般社団法人「サービステザイン推進協議会以下サ協」のことを「おかしい・あやしい」と思われたのではないのでしょうか。

サ協そのものが、電通関係者が設立したもので、もとも何をしているのかもはっきりしません。

そんなところに委託した給付業務の委託費は769億円で、円にも及びますが、仕事のほとんどは「電通」「パソナ」に再委託され、そこから再々委託、再々々委託と、実にどこが業務を担っているのかさっぱり分からなくなっている状況です。発注者の経産省中小企業庁の前田泰宏長官がサ協幹部の電通関係者と海外で会食していたことが明らかになり、この人たちがグルになって業務委託費を得られる政治と胸を張って言えるのでしょうか。

ドイツのメルケル首相は、コロナウイルス対策について、「開かれた民主主義に必要なことは、政治的決断を透明にして、説明すること、行動の根拠を伝達することによって、理解を得られるようにすることです」と述べました。一方、我が国の首相は、適正な委託だなど弁明し、疑惑に答えようとしません。不遜で悲しい態度です。そして首相は、国会会期を延長せず、閉会することに尽力しました。透明性を持つ政治、理解を得られる政治と胸を張って言えるのでしょうか。

社会民主党県議会議員

岩切たつやプロフィール

1979年県庁入庁し、児童相談所、福祉事務所等に勤務。その間、労組委員長、PTA会長など労働運動、地域活動に取り組む。

2015年県議選に初挑戦、現在二期目。文教警察企業常任委員会委員長
 社民党県連副代表
 59歳 家族 妻と子ども
 社会福祉士、宮崎県登録養育士

学校休業した分、今年の夏休みは短くなるのか。全体的に子どもに、幸福な未来があるように祈ると同時に、行動していきます。

様々な課題を取り上げて、県民福祉の向上に寄与できるように頑張っていきます。

皆さまの県政に対する
 ご意見、ご要望を
 お聞かせください。

コロナに負けない宮崎県づくり

ホスト・コロナ社会は、新しいゆたかさに挑戦する社会

六月議会に登壇しませんでしたので、提案された事業や同僚議員の質問・答弁をご紹介します。

感染拡大防止



☆小児医療や周産期医療機
関、地域の一般医療機関や薬局の院内
感染防止対策推進☆(5.6億円)
☆PCR検査体制を県内7ブロックに
設置する費用☆(1億2千万円)
☆医療、介護、障害福祉サービス従事
者に慰労金の支給☆(6.2億5千万円)
学校トイレの洋式化、公共交通機関
の感染防止対策の推進費もあります。

☆コロナ対策制度融資の大幅な拡充
(融資限度額の拡大など)☆(6.4億円)
☆農林水産業、建設業、給食事業者支
援、ひとり親世帯への給付金など、産
業と暮らしへの支援☆(1.3億円)
生活福祉資金貸付金拡充や、生活困
窮者の相談体制の拡充にも取り組まれ
ています。

雇用維持、事業継続支援

☆コロナ対策制度融資の大幅な拡充
(融資限度額の拡大など)☆(6.4億円)
☆農林水産業、建設業、給食事業者支
援、ひとり親世帯への給付金など、産
業と暮らしへの支援☆(1.3億円)
生活福祉資金貸付金拡充や、生活困
窮者の相談体制の拡充にも取り組まれ
ています。

☆コロナ対策制度融資の大幅な拡充
(融資限度額の拡大など)☆(6.4億円)
☆農林水産業、建設業、給食事業者支
援、ひとり親世帯への給付金など、産
業と暮らしへの支援☆(1.3億円)
生活福祉資金貸付金拡充や、生活困
窮者の相談体制の拡充にも取り組まれ
ています。

地域経済の再始動・活性化支援

☆地産地消、応援消費の推進としての
プレミアム食券、プレミアム商品券
の発行、商店街でのイベント支援。公
共交通機関の利用促進支援など☆
(2.3億6千万円)

「ジモ・ミヤ・ラブ」の普及啓発で、
県内産の農畜水産物の消費拡大推進を
図ります。学校給食に、マンゴーや、
宮崎牛、養殖ブリなど、普段は高級食
材である県内の農畜水産物を提供して
消費拡大を図ります。

持続的な経済社会作り



☆オンライン教育システムの構築(県
立中学校等、スクール・サポート・
スタッフの配置☆(4千万円))
☆農林水産業の付加価値向上
のための施設整備支援☆(1.0億円)
☆ものづくり企業支援、生産拠点の
国内回帰支援☆(3億6千万円)

高校総体などの代替大会開催支援
を行い、生徒たちが懸命に頑張つて
きた部活動の集大成の場を提供する
ことも決まりました。

文教警察企業常任委員会 委員長に就任しました。



☆質問 ☆ (社民党満行潤一議員)
県内企業の求人状況は？若者を
宮崎に。マッチングの支援を。

☆質問 ☆ (社民党高橋透議員)
国民スポーツ大会に向け、施設
整備に400億、競技力向上や運
営費に200億と多額。優勝を目
指すと言うことだが、コロナ禍を
受けて、見直すべきではないか。

☆質問 ☆ (立憲党渡辺創議員)
小学校教師の募集に対し、受
験者が減少し、倍率が1・8倍
と低下している。教師になろう
という若者が減少していること
に対して、教師養成段階からの
対策が必要ではないか。

☆質問 ☆ (立憲党渡辺創議員)
高校生の出前講座をしたり、
宮崎大学に、来年度「宮崎県教
員希望枠」の創設をするなど対
策を講じていく。

☆質問 ☆ (立憲党渡辺創議員)
高校の校則に、時代に合わな
い内容があると報道があった。
いわゆるブラック校則などとい
う現状を教育長はどのように思
うか。見直しは？

☆質問 ☆ (立憲党渡辺創議員)
過去に定めたものが現
状にそぐわないものが一
部あった。適宜、見直しは必要
で、教育上意義のあるものにな
るよう学校長に求めている。

☆質問 ☆ (立憲党渡辺創議員)
図書館業務の効率化と、サー
ビス向上にむけ、書籍管理方法
にICタグの導入をしては。

☆質問 ☆ (立憲党渡辺創議員)
80万冊の蔵書管理は現在パ
ーコードを使用。職員の業務負
担軽減、利用者のサービス向上
は大事で、ICタグ化の経費や
耐用年数など情報を収集する。

国民スポーツ大会に向け、施設整備に400億、競技力向上や運営費に200億と多額。優勝を目指すと言うことだが、コロナ禍を受けて、見直すべきではないか。

国体の有り様に議論があることは承知している。一方、スポーツを地域振興に活かす、将来につながる事業と認識。高い目標を掲げて取り組むことに効果がある。

私の意見 ☆ 現在、中学校に部活動がない種目が16種目あります。国体は各種目にエントリーすれば得点加算される方式なので、開催県は総合優勝をめざして、未普及競技の育成に指導者を招き入れ、エントリーを目指します。見直すことの1つではないでしょうか。



県内企業に就職することで、奨学金の返済を支援する「ひなた奨学金返済支援事業」の効果は？

返済支援に取り組む企業に費用を支援するもので、92社まで拡大し、対象者も19人から50人に拡大となった。県内出身者8割で、県内定着に貢献している。

私の意見 ☆ 卒業した時点で、奨学金という数百万円の借金を抱えている若者が増えています。その返済が結婚を躊躇うちよする原因にも。この支援は若者定着と、安定した生活支援の一石二鳥の政策です。

4月臨時議会

◆一般会計補正予算案90億79万7千円ほか ◆議員の委員会所属決定等

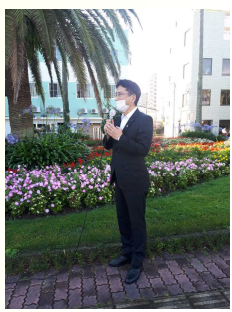
6月定例議会

◆一般会計補正予算案107億4,466万7千円ほか ◆手数料条例改正ほか
◆条例改正 ◆公安委員会委員の任命等人事案件
◆一般会計補正予算案193億9,337万6千円 ◆副知事の任命にかかる人事案件。

日常活動スナップ



6月定例会の、委員会の様子と、委員長報告



早朝街宣行動(六月)

社会の姿が大きく変わる時代に

◇感染防止を目的に、自粛生活が求められ、イベントや会合、様々な団体の総会など、ほとんどが中止や延期となりました。そのため、日常活動スナップは少なくなりました。

◇それでも電話や、SNSを駆使して、皆さんの生活の現状や、地域の課題を把握し、行政に活かしてもらえよう活動してきました。

◇この間、一番不安だったのは、食料の輸入がどうなるかでした。マスクや防護服が不足しましたが、それは外国の工場に依存していたから。ましてや食料は、その6割を国外に依存していると言われます。目に見えないウイルス対策に、国境を閉じざる得なくなったとき、この国は飢えずに生きることができのでしょうか。

◇持続可能な経済・社会作りを力注がなくてはなりません。

